



社会

社会

世の中のしくみを知り、よりよい社会について考える。

社会科について

◆社会科の学習では、世の中のしくみやその変化を知ることができます。そして、将来にむけてよりよい社会とはどんなものかを考えたり、自分が社会にどんな貢献をすることができるかを考えるたりすることにつながります。

地理：世界や日本の地形や気候、産業や文化などを学習します。

歴史：日本や日本に関係する外国の今に至るまでの成り立ちを学習します。

公民：日本の政治と経済について学習します。今の日本の課題について学びます。そして、よりよい社会について考えます。

小学校で学んでおくこと

小学校で学んだことを中学校では詳しく学びます。①～④はしっかりと覚えておきましょう。

① 地図記号や方位（小学三年生）
② 兵庫県や小野市について（小学三・四年生）

③ 日本の都道府県名・自然地形名・日本周辺の国名（小学四・五年生）
④ 歴史の流れ・時代名や登場人物・日本国憲法（小学六年生）

★新聞やニュースを見て、世の中の出来事を知っておきましょう。そのニュースや出来事に対して自分なりの意見を持ちましょう。

★興味がある事はくわしく調べ、ノートにまとめてみましょう。



家庭学習のアドバイス

- ①教科書をしっかり読みましょう。→キーワードにアンダーラインをひきましよう。
- ②予習が大切。教科書を読んだり、自分で調べたりして、授業を受けるようにしましよう。
- ③授業の後、ノートを見て、大切な語句等を確実に覚えましよう。
- ④ワークなどの課題は、答え合わせに時間をかけましよう。
→間違えた問題は、繰り返しやってみましよう。
- ⑤日本や世界の偉人・英雄に関する本を読みましよう。





算数（数学）

数学

身のまわりには数学があふれている！



算数(数学)について

◆算数科(数学)の学習は「問題の答えを求めること」だけではありません。「答えを求めるために、いろいろ試してみたりを見つける」「予想を立て、その予想が正しいか確かめる」「考えたことを筋道を立てて説明する(論理的思考)」「みんなで話し合っって考えを深める」といったことも大切な算数(数学)の学習です。与えられた問題だけでなく、学習したことをもとにして新しいことを発見したり、身のまわりの場面で活用したりしていきましょう。私たちの身のまわりには算数(数学)があふれています。

小学校で学んでおくこと

① 小学校で学んだことが基礎となります。
① $+$ $-$ \times \div を使った計算を確実にしましょう。

② 小数や分数の計算ができるようにしましょう。

③ 難しい問題で答えが出なくても考えることを続けましょう。

④ 自分の考えをみんなにわかりやすく説明しましょう。

⑤ まちがいをそのままにしないでやり直しましょう。

★ おの計算検定を活用して、計算力を高めましょう。

★ 疑問に思ったことは、友だちや先生に質問しましょう。



家庭学習のアドバイス

①教科書をしっかり読んで予習しましょう。

→わからないところにアンダーラインをひいておきましょう。

②復習をていねいにしましょう。計算ドリルやおの検定のテキストをしましょう。

③テスト、計算ドリルやテキストで間違えた問題を中心に復習しましょう。

→間違えた問題をまとめておくと、簡単に復習できます。

→何が原因で間違えたかをしっかり考えましょう。

④数字を使ったパズルなど、楽しみながら取り組んでみましょう。

⑤いろんな出来事に「なぜ？」と考える習慣を身につけましょう。





理科

理科

自然から学び、社会を支える理科の世界

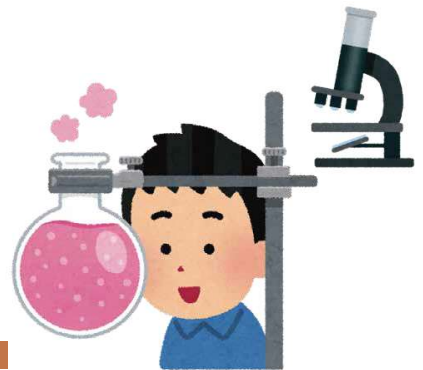


理科について

- ◆理科を学習することで、世の中に対する見方・考え方が変わります。自然界にあふれている原理や法則を理解することは、身近な生活や未来をより豊かなものにつなげられます。理科は物理・化学・生物・地学の4つの分野を学習し、自然界の法則や生物、地球や宇宙について考え、環境問題や最新科学技術についても学習します。

小学校で学んでおくこと

- たくさん「なぜ？」を見つけ、自分の力で調べてみましょう。
 - ① 試験管など実験器具の使い方や理科室の使い方をおきましよう。
 - ② 「速さ」「割合」、小数や分数の計算の仕方は理科でも使いますので、マスターしておきましよう。
 - ③ mやkgなど、大きさや重さの単位について理解しておきましよう。
 - ④ 自分の言葉で説明できる力をつけておきましよう。
- ★新聞やニュースで理科に関する記事をチェックしましよう。



家庭学習のアドバイス

- ①教科書をしっかり読みましよう。→キーワードにアンダーラインをひいて覚えましよう。
 - ②図や表、グラフなどを使って、わかりやすく説明できるようにしましよう。
 - ③図鑑で調べましよう。
 - ④動画や写真だけではなく、外に出て、できるだけ多くの自然体験をしましよう。
- ※不思議に思ったことは実際に見に行きましよう。

